



ISO 9362

－ 企業識別コード(BIC)に関する国際規格 －

2015年6月30日

ISO/TC68 国内委員会事務局



目次

1. ISO 9362とは
 2. BICの構造
 3. BICの主な特徴
 4. BIC1の廃止
- 参考資料

※ 2014年12月に最新版(第4版)が発行されているため、
本資料はこの最新版の内容に基づいています。



1. ISO 9362とは

➤ ISO 9362とは

- ・ 企業識別コード (Business Identifier Code^{※1}) に関する国際規格。
- ・ 同コードは、通称、BICまたはSWIFTコードと呼ばれている。

—— BICは、金融機関^{※2}だけでなく、非金融機関^{※3}もコード化対象^{※4}であるが、実際は、銀行間の送金業務、特に国際送金業務にかかる情報処理に活用されていることがほとんど。

—— 最新版(第4版)が2014年12月に発行されている。

※1 ISO 9362は、過去、銀行識別コード (Bank Identifier Code) の名称で、金融機関のみを対象としていたが、第3版(2009年)発行に伴い、その対象を非金融機関(※3参照)も含める形で名称が変更された。

※2 主に金融業務及び/あるいは金融業務に付随する業務を行う機関である。典型的には、送金、証券、預金、融資、保険、投資等の為に金融資産を取得し、同時に市場における金融取引の債務を資産計上する。金融機関は、下記のいずれかである：

- i. 金融市場の監督官庁に免許、許可もしくは登録され、かつ監督される機関。
- ii. 送金、証券、銀行、融資、保険、投資等を主に行う国際的、多国籍、多国あるいは一国の政府または政府機関(中央銀行を含む)。

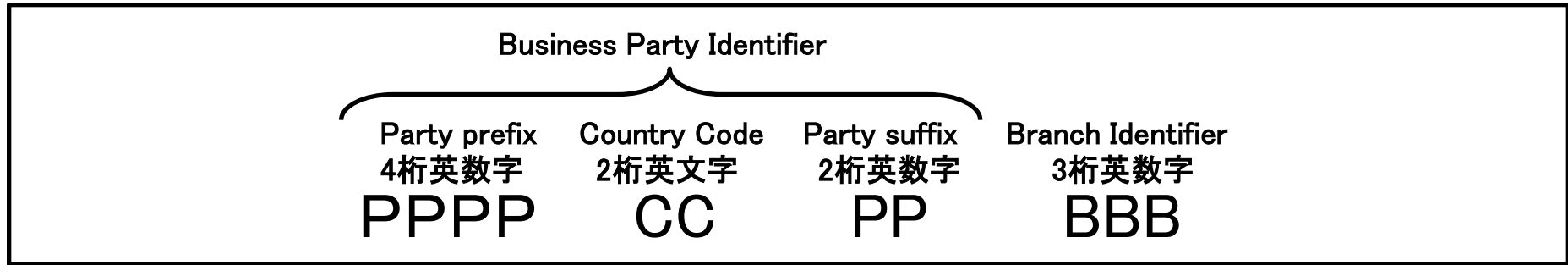
※3 ※2の範疇で定義されない機関で、商品やサービス(金融サービスを除く)提供を行う機関とする。一部の非金融機関では二次的に消費者金融を顧客に提供したり、資金管理機能を有するが、主たる業務が金融業務でないことにより非金融機関とする。

—— ※2、※3は、「ISO 9362:2014 – BIC Implementation White Paper(日本語版、6頁)」より引用。

※4 個人はコード化の対象外。



2. BICの構造



項目	内容
Business Party Identifier	登録機関(Registration Authority <RA>)により付番される8桁コード。 ※ 現在はSWIFTが登録機関となっている。
Party prefix	ランダムに付番される4桁英数字コード。
Country Code	Business Partyの所在地(国や地理的領土)を特定する2桁英文字コード(ISO 3166-1)。
Party suffix	ランダムに付番される2桁英数字コード。
Branch Identifier	Business Partyのユニット(所在地、部署、サービス等)を特定する3桁英数字コード(オプション)。

(参考) 旧版(第3版)におけるBICの構造



Institution code 4桁英数字 I I I I	Country code 2桁英文字 CC	Location code 2桁英数字 LL	Branch code 3桁英数字 BBB
---	------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

項目	内容
Institution code	RAにより、コード対象の主体が明確に特定できる形で付番される4桁英数字コード。
Country code	コード対象主体の所在地(国や地理的領土)を特定する2桁英文字コード(ISO 3166-1)。
Location code	RAにより付番される2桁英数字コードであり、SWIFTへの接続状況により、コードの付番方法は次の通りとなる。 ① SWIFT接続先 … 2桁英数字コード(ただし、数字“0”および下1桁目の数字“1”の使用は不可) ② SWIFT非接続先 … 2桁英数字コード(ただし、数字“0”の使用は不可であり、下1桁目は数字“1”が必須) また、Country codeで示された国の中で、コード対象主体の所在地が特定できるように付番される。
Branch code	コード対象主体の支店や部署を特定する3桁英数字コード(オプション)。ただし、英文字“X”の使用は不可。

3. BICの主な特徴

➤ ランダムな英数字構成

- ・ 最新版(第4版)では“Party prefix”及び“Party suffix”がランダムな英数字コードで付番され、機関名称や所在地が判別できない仕組みになっている。
 - 旧版(第3版)では“Institution code”、“Location code”を通じて、コード対象主体の名称や所在地が判別可能であった。なお、旧版を基に発行された既存BICは、最新版の発行後も継続使用される。
 - 登録機関(RA)のSWIFTは、“Party prefix”(4桁)について、数字コードを使用しない方針を示している※。これは、4桁英文字コードだけでも456,976の組み合わせが可能であり、コード不足の可能性が低いため。
 - ※ SWIFTは、他方でソフトウェアベンダーに対しては、規格に準拠して“Party prefix”を英数字で検証できるアプリケーションの開発を推奨している。

3. BICの主な特徴



➤ BICデータレコード(1)

- ・ 最新版(第4版)において、BICはランダムな英数字コードで構成されるため、コードから企業名を把握することができない。そのため、企業などの属性情報は、コードとは別にBICデータレコードとして管理される。
- ・ BICの申請者は、同レコードの正確性を確保し、メンテナンスの実施に対して、責任を持たなければならない。
- ・ BICデータレコードについては、以下のサイトから入手できる。
 - ① Online BIC Search: <http://www.swift.com/bsl/>
—— BICに関する基本的な情報のみ入手可能
 - ② BIC and IBAN standard:
http://www.swift.com/products_services/bic_and_iban_format_registration_bic_overview?rdct=t
—— BICデータレコードを入手可能
- ・ 今後、新しいサイト“www.iso9362.org” が開設予定であり、開設後は同サイトがISO公式サイトとなる。同サイトでは前述のBICデータレコードの検索ができる予定。

3. BICの主な特徴



➤ BICデータレコード(2) 規格で定義されているBICデータレコード

項目	属性情報	登録要否
Business Party	Business Party(BICで確認される機関)の正式名称	必須
	登記上の住所	
	ステータス(金融機関 or 非金融機関)	
	実務拠点の住所	オプション
Branch	Business Partyの組織的なユニットに関する情報(所在地、部署、提供サービス)	必須
	実務拠点の住所	
その他の追加的な属性情報	新規記録の掲載日	必須
	記録更新日	
	記録失効日(必要な場合のみ)	
	申請機関自身で情報更新を行っているかに関する指標	



4. BIC1の廃止

- 旧版(第3版)では、SWIFT(SWIFTNet FIN※)非接続先に対し、コード8桁目(“Location code”の2桁目)を“1”としていた(“BIC1”ルール)が、最新版(第4版)では「コード付番が特定のネットワークに依存するのは望ましくない」という事由で、BIC1は廃止。

※ SWIFTが提供するストア&フォワードのメッセージングサービス。ストア&フォワードとは、中継局を介して通信を行う際、情報を中継地点で一度蓄積した後、最終目的地あるいは別の中継局にそれを転送する方式。

(移行期間の設定)

- BIC1廃止は、既存SWIFTユーザーに対して業務上の影響が非常に大きいため、新規格発行後も、2018年11月まではBIC1を利用可能とした。

(BIC Implementation White Paper)

- SWIFTユーザーグループからは、移行期間が設定されても、具体的な移行プランが無いため、同期間中の対応が難しいというコメントが寄せられた。
⇒ そこで、SWIFTは、「BIC Implementation White Paper」を公表し、BIC1廃止に伴う移行期間中の取扱いについて詳細を説明している。

参考資料



- ISO 9362:2009 “Banking – Banking telecommunication messages – Business identifier code (BIC) ”
- ISO 9362:2014 “Banking – Banking telecommunication messages – Business identifier code (BIC) ”
- ISO 9362 “BIC Registration Procedures”
—— 規格とは別に作成されているBICの登録、発行、メンテナンスのためのガイドライン。下記URLからダウンロードが可能である。
http://www.swift.com/products_services/bic_and_iban_format_registration_bic_overview
- ISO 9362:2014 – BIC Implementation White Paper
—— 最新版(第4版)が導入されるに際し、その変更と影響の詳細等を説明した文書であり、日本語版および英語版について、下記URLからダウンロードが可能である。
http://www.swift.com/jp/events/japanese_material_download_centre/index.page



お問い合わせ

TC68国内委員会事務局

(日本銀行 金融研究所 情報技術研究センター)

E-mail: iso-tc68@boj.or.jp